

(2) 美容文化コース(美容師養成施設)

教科科目	科目の特徴	科目の目標
衛生管理 I	公衆衛生領域での正しい知識と情報を学ぶ必要がある。この講義では、衛生環境について、公衆衛生と環境衛生、感染症、衛生管理技術について系統的に講義する。	公衆衛生の正しい知識を身につける。
美容保健 I	人体各部の名称並びに頭部、顔部及び頸部の解剖学的特徴(骨格、筋、神経含む)を講義する。	人体組織の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の修得を目的とする。
化粧品化学 I	スキンケア製品、メイクアップ製品、ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキヤルケア製品について学ぶ。	美容技術の基礎となる化粧品に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。
美容技術理論 I	美容技術には常にその技術を施す裏付けがあり、その意義を理解しておかなければ更に高度な技術には対応できない。日々移り変わる美容技術についても対応できるよう、将来、美容を生業とする者が知っておかなければならない技術に関する知識や理論を学ぶ。	美容師が取り扱う化粧品類及び医薬部外品に関する知識と基礎的な美容技術に関する理論の理解。
美容文化実習 1	頭髮美粧の基礎的知識と技術を修得していく。ワインディング、作品制作等を通して、基礎的なヘアスタイルの構成要素と技術ポイントを把握し、より正確に素早い施術を目指す。	美容師として必要な基礎技術の修得。
美容文化実習 3	まつ毛エクステンションは現在において急速に需要が高まっているものの「ファッション」として捉えられているのが現状であり、よって技術だけが先走り、理論が十分に理解されないまま施術が行われていることが問題となっているため、どのようなトラブルにも対応できる事故のない安全な施術を行える技術を学び、シャンプー実習は基本の技術を学ぶ。	日本理容美容教育センターA BEアイラッシュジュニアディレクター資格取得。 シャンプー実習の基礎技術取得。
和装着付け	和装着付けの歴史、種類等の基礎知識からトータルに和装着付け技術を学ぶ。色々な帯の結び方から着物の模様、半襟や帯の種類、帯締、帯上げ等の色彩の調和を考えた総合的な美しさをより一層引き立てるための技術を修得する	和装着付け技術と知識の全般的な理解と基礎技術の修得を目指す。
社会福祉概論	現代の社会福祉制度のもとになっている日本国憲法の学習から始まって、今日の社会福祉を取り巻く少子高齢化の現状と課題、社会福祉の理念やしきみ、社会保障制度の実態と課題などについて学ぶ。	現代社会を生きる市民として、また福祉にかかわる専門職やNPO、ボランティア等をめざす者として、必要な社会福祉に関する知識を習得する。
情報処理演習 I	コンピューターを常識として活用する能力「コンピューター・リテラシー」を養うことを目的とする。パーソナル・コンピューター及び情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用ができるように授業を進める。	文章デザイン試験3級合格を目指す。